



春はすぐそこまで

部長 勝木 茂

早いもので、今年度も残り1か月となりました。新型コロナウイルス感染症については、終息への見通しが未だ不透明な状況のまま、全国一斉の臨時休業から、もう2年が経とうとしています。今年度も、授業参観、宿泊体験学習、遠足、学習発表会等々やむを得ず中止とさせていただきました。また、感染拡大防止策として、授業日程や授業方法の変更（一部映像授業への切り替え）、複数の学級での学級閉鎖も実施せざるを得ない状況となりました。そのような中であって、保護者の皆様には、初等部の教育活動にあたたかいご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。皆様のご理解とご協力があるからこそ、十分とは言えないまでも、何とか授業をはじめとする教育活動を続けることが出来ていること、職員一同改めて心に刻んでおきたいと思っております。

このような中であって、初等部の子どもたちは、ずいぶんと頑張っています。制限がある中で、我慢していることも多くあるかと思いますが、日々の授業へ向かう姿勢は素晴らしいと思います。言うまでもなく授業は学校での基本中の基本です。わたしは、一日の中で何回か、すべての学級の授業の様子を見ていますが、ほとんどの子どもたちは、しっかりと準備をして意欲的に取り組んでいます。みんなで真面目に授業に向かう姿勢、これはとても大切なことです。わたしは、真面目というのには、最も大切な育てるべき資質・能力の一つだと思います。（個々のお子様の状況については学級担任にお聞きください。）

このコロナ禍の2年間は、これまで当たり前の様にやってきたことを改めて見直す機会ともなりました。例えば、感染拡大防止策として、理科室における実験は、実験用机一つ当たりの子どもの人数をこれまでの半分としました。（1学級での実験を2交代制としました）これによって、子どもたちが実験に直接かかわる頻度が倍となり、自ずと主体的に実験に取り組む態度が形成されるようになったと思います。他にも、前にもご紹介した「みらいスクールステーション」を使った

全校リアルタイムの映像と音声の配信など、コロナ禍後も引き続き取り入れたいものもいくつかあります。



【理科室での実験の様子（6年生）】

さて、3月16日（水）には卒業式を、新年度、4月7日（木）には入学式を実施予定です。どちらも感染予防対策を徹底して行いたいと思います。特に卒業式は、「6年生（卒業生）にとって、一人一人が、卒業の喜びを味わうとともに、進学への希望をもち、今までお世話になった方々への感謝の気持ちと鎌倉女子大学初等部への愛校の念を抱き、将来への心構えがもてる」そういった思い出深い式にしたいと考えております。また、新年度からは、リニューアルした本館も初等部校舎となり、施設が大きく拡大します。

希望の春はすぐそこまで来ています。



【リニューアルする図書館（完成間近）】